

令和三年三月

道明寺天満宮梅まつり

奉納俳句入賞作品

梅賞 白梅の蕊に光のそそぎけり

東大阪 小野寺康公

評 開花の白梅を覗くと、無数の蕊が立ち、日の光が吸い込まれていく。

松賞 盆梅の瘤よりすわえあかね色

河南町 余田はるみ

評 盆梅の中に瘤を宿しそこから新芽出て枝があかね色に輝いている。

竹賞 疫病の鎮まる兆し梅ひらく

藤井寺 近藤登志子

評 一年に亘るコロナ禍も鎮まる兆し。馥郁とした梅の香に救われる。

佳作 梅日和赤子すやすや宮参り

松原 西田 鏡子

天神の梅見にはか雪も来て

藤井寺 井門 きみ

盆梅の宇宙に遊び動かざる

羽曳野 菊川 善博

観梅の牛歩の足の止まりをり

羽曳野 土井 常寛

尼様は白寿でありぬ梅白し

大阪狭山 多賀あやか

絵本見るベンチの二人梅の園

藤井寺 窪田 睦美

枝垂梅揺れて下五に句の生る

羽曳野 岡田 猛

見頃とはけふをいふもの観梅橋

広陵町 堀田 建夫

梅ヶ香に瑞気漲る天満宮

羽曳野 村上 凱夫

梅一輪二度と帰らぬ柩閉づ

藤井寺 中西 寿子

(主催 藤井寺市観光ボランティアの会)